

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標4_都市基盤・防災・防犯・消防】

施策 4-1_快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出

基本計画		事業番号	細事業名称
4-01-01	計画的な土地利用の推進	06198_01	地籍調査事業
4-01-01	計画的な土地利用の推進	08037_04	都市計画策定
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08049_01	公園整備事業
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08236_01	公園長寿命化対策事業
4-01-03	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	08277_01	滝の宮公園リニューアル事業

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	06198_01		
事業名(行目名称)		地籍調査事業費	細事業名	地籍調査事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出				
	基本計画	計画的な土地利用の推進	担当課	国土調査課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市域(調査対象面積)		数値	232.33Km ²			
	手段(どうやって)	毎筆の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その結果を地図及び簿冊に作成し、一筆ごとの土地の境界を明確化する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	地籍調査が行われることで、民間においては土地境界をめぐるトラブル防止や登記手続の簡素化・費用縮減、土地の有効活用が促進される。 行政においては各種公共事業の効率化やコスト縮減に寄与するとともに、公共物管理の適正化が図られるようになる。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		23,540	67,557	130,096	50,217	○報酬 3,191千円 ○職員手当等 576千円 ○共済費 382千円 ○旅費 51千円 ○需用費 471千円 ○役務費 513千円 ○委託料 61,021千円 ○使用料及び賃借料 1,090千円 ○負担金補助及び交付金 262千円		
財源	県・国支出金	9,293	39,600	87,759	28,059			
	地方債		0	0				
	その他	37	45	14,425	47			
	一般財源	14,210	27,912	27,912	22,111			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
事業進捗率(%) 調査換算面積 ÷ 調査対象面積			目標値	13	13.9	14.8	14.8	15.7
			実績	13.7	15.1	15.3	16.1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
昨年度からの継続となる八雲町地区、泉宮町地区及び別子山芋野の一部地区並びに新規着手となる一宮一丁目・二丁目地区及び別子山芋野の一部、成の一部地区において事業を実施しており、予定通り進捗している。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
国、県の財源措置もあるため、第7次国土調査事業計画に基づき、事業を継続していく。 新規地区として宮西町、繁本町、田所町地区、別子山成の一部地区及び別子山竹ヶ市の一部、大野の一部地区に着手する。 概況調査では、DID地区である徳常町、若水町一丁目・二丁目地区を予定している。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
土地の取引やインフラ整備の円滑化、防災対策や減災対策を推進するため、今後も継続して事業を進める必要がある。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08037_04		
事業名(行目名称)		都市計画策定費	細事業名	都市計画策定			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出			
	基本計画	計画的な土地利用の推進	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	上位計画に基づき、都市計画上の課題に対応した都市計画変更の手続きを行うため、必要な基礎調査、協議等を重ねてきた。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市長期総合計画(後期戦略プラン)、新居浜市都市計画マスタープランに示される本市の課題に対応した都市計画変更を行うことにより、まちづくりを計画的に進めて、適正かつ合理的な土地利用を実現することができる。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)		令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		10,593	27,685	27,685	○旅費 167千円 ○需用費 688千円 ○役務費 1,201千円 ○委託料 25,071千円 ○備品購入費 20千円 ○負担金補助及び交付金 18千円 ○公課費 520千円		
財源	県・国支出金	0	2,778	2,778		0	
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	10,593	24,907	24,907			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
都市計画決定(変更)案件数(件)		目標値	2	2	4	4	1
		実績	1	3	0	4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
将来都市像に対応したまちづくりを推進して行くには、事業実施に向けた計画の策定及び見直しが必要であり、順当に進めていく事が出来ている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
目指すべき将来都市像に応じたまちづくりを進めて行くには、基本的な方針に基づいた計画策定及び見直しは必要であるため、引き続いて予算要求を行う。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
都市計画マスタープランに基づき土地利用や都市施設の都市計画の決定を行った。また、持続可能なコンパクトなまちづくりを推進していくため、新居浜市立地適正化計画の見直しを行った。都市計画決定に即した事業を実施することで、目指すべき都市が形成されていくため、適時適正な見直し及び計画の策定を行う本事業は必要である。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08049_01		
事業名(行目名称)		公園整備事業	細事業名	公園整備事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出			
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民全体	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	維持管理状況の適正な把握(パトロール)による必要な業務の委託、維持補修及び施設更新、整備工事を行い、費用対効果を検証しながら、効率的な管理整備を行っていく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	公園の適正な維持管理・補修整備を行い、都市緑化を推進し、市民に安全かつ快適なレクリエーションスペースを提供すると同時に健康増進や市民相互の交流の場の創出を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		92,261	95,058	120,058			
財源	県・国支出金	0	0	0	○旅費 96千円 ○需用費 10,200千円 ○役員費 400千円 ○委託料 77,760千円 ○使用料及び賃借料 500千円 ○工事請負費 5,880千円 ○原材料費 200千円 ○負担金補助及び交付金 22千円		
	地方債		0	22,500			
	その他	0	0	0			
	一般財源	92,261	95,058	97,558			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
パトロール等による改善件数		目標値	600	600	300	600	600
		実績	637	521	365	576	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>一部分の公園緑地を除き、大部分の都市公園は開設から多くの年数が経過し、施設の老朽化が顕著である。また、樹木も大木となり、施設や植栽の適切な維持管理が欠かせない状況となっている。かつ、除草や施設改修の要望・苦情は絶えることがない。職員が直接対応することも増えており、優先度を勘案して事業を実施していく必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>公園利用者が快適に公園施設を利用できるように、今後も公園施設の維持管理に取り組む。そのため、本事業は有効性・必要性の高い事業である。樹木の管理や害虫の駆除などは専門知識が必要なため、継続して現状の予算を確保し、公園利用者の安全の確保に務める。今後も継続して滞りなく維持管理・点検・修繕業務を実施していく。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>市民から公園の利用や整備について多数の要望や意見が寄せられており、安全・快適に公園施設を利用できるよう維持・管理について計画的かつ継続的に取り組んでいく必要がある。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08236_01		
事業名(行目名称)		公園長寿命化対策事業	細事業名 公園長寿命化対策事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出				
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	担当課 都市計画課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	公園利用者		数値	118,521人		
	手段(どうやって)	長寿命化計画を策定し、計画的に修繕・改築を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	長寿命化計画を策定し計画的な改築・修繕を行うことにより公園を安全で快適に利用できるようにする。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 34,320千円	
経費		18,749	34,320	34,320			
財源	県・国支出金	5,304	15,000	15,000	0		
	地方債	8,900	13,500	13,500			
	その他	0	0	0			
	一般財源	4,545	5,820	5,820			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
公園に対する苦情件数(件) H30年度まで 公園施設の老朽化に関する苦情件数(件) R01年度			目標値	30	30	30	30
			実績	4	6	2	3
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
交付金対象施設は、公園長寿命化計画に基づき、更新補修を実施できているが、交付金対象外施設についても積極的な更新をしていく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
長寿命化対策工事については、前年度同様の予算規模となるが、公園長寿命化計画を見直す必要があるため、業務委託料が増額となる。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
令和5年度については、園路舗装、ベンチ等の改修や既存遊具の補修等を実施し、安全安心で快適な公園の利用を提供することができた。引き続き計画的に老朽化施設を改善し、適正な維持管理を行っていく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08277_01		
事業名(行目名称)		滝の宮公園リニューアル事業	細事業名 滝の宮公園リニューアル事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 快適で魅力・活力あふれる都市空間の創出				
	基本計画	誰もが安全、快適に利用できる公園緑地の整備	担当課 都市計画課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	滝の宮公園		数値	118,521人		
	手段(どうやって)	公園リニューアルに係る測量設計及び工事の実施					
	目的(どんな状態にしたいのか)	滝の宮公園について、少子高齢化や健康に対する意識の高まりなどの多様なニーズを踏まえ、安全かつ快適に公園施設を利用できるようにリニューアルを実施し、より一層市民に親しまれる憩いの場として復活させる。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		7,875	54,200	74,200			
財源	県・国支出金	3,115	26,000	36,000	○職員手当等 1,500千円 ○需用費 700千円 ○工事請負費 52,000千円		
	地方債	3,100	25,300	34,300			
	その他	0	0	0			
	一般財源	1,660	2,900	3,900			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
公園利用者数		目標値	190000	194000	99000	198000	202000
		実績	196000	211000	105500	211000	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
休養施設の整備については、計画どおり進行しているが、新たな駐車場整備については、地権者の移転後に工事着手となり遅延している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
リニューアル計画に基づき予算要求を行う。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和5年度については、花見広場、休憩施設等の整備を実施し、利用者に安全かつ快適な空間を提供することができた。今後もリニューアル計画に基づき、整備を継続する。							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				